

# DEWALT®

## デウォルト電動工具 取扱説明書

### D28800/D28132 ディスクグラインダ



二重絶縁

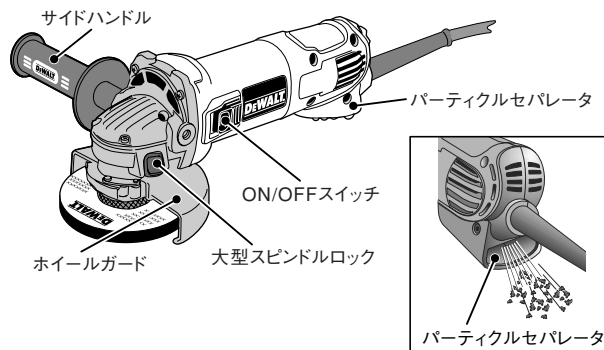
本製品は電氣的に安全な二重絶縁構造となっておりますので、接地（アース）する必要はありません。

このたびはデウォルトディスクグラインダをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みにになり正しくご使用ください。

この取扱説明書を大切に保管し、必要な時に備えてください。

### 製品の各部名称と仕様



※上記製品の図は、D28132のものです。

サイドハンドルとホイールガードは、D28132とD28800とで異なります。

こだわりのデウォルト... 強靱な作業場を提供します。

デウォルトブランドの高品質・耐久性は現在、世界各国で圧倒的な支持を獲得しています。デウォルト電動工具は1923年アメリカ合衆国、レイモンド・デウォルトによって最初の卓上スライド丸ノコが開発されました。以来、石工、木工、金工用工具を問わず多数の工具を提供し、その耐久性はあらゆる作業場の要望にお応えし、満足していただいています。すべての工具はハイテクを駆使した弊社製造技術のもとに作られ、また出荷前の品質管理には万全を期しています。強靱な耐久性、作業の確実性、ハイパワーを作業場でお楽しみください。

### 仕様

品番	D28800	D28132
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	1050W	1200W
回転数	9000min <sup>-1</sup>	10,000min <sup>-1</sup>
砥石寸法	外径φ100mm×内径15mm×厚さ4mm~6mm	外径φ125mm×内径22mm×厚さ6mm
質量	1.8Kg	1.8Kg

注意) 上記仕様は改良の為、主要機能および形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

# 目次

製品の各部名称と仕様	1
安全上のご注意	2
警告（電動工具を安全にお使いいただくために）	2
警告（ディスクグラインダに関する安全上の追加事項）	3
注意（ディスクグラインダに関する安全上の追加事項）	4
製品の特徴と使用方法	4
メンテナンス	6
アフターサービスについて	6
アクセサリ	6

## 安全上のご注意



### 注意

正しく安全にお使いいただく為に、ご使用前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

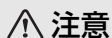
電動工具をお取扱いの際には、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は、「障害を負う危険性または物的障害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容を、次の絵表示で説明しています。



このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」です。



## 警告 電動工具を安全にお使いいただくために。

### ◆作業場の環境について

- 明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。
- 雨中や湿った場所など本体内部に水の入りやすいところでは使用しないでください。湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故につながります。
- 危険物のまわりでは決して作業しないでください。通常、電動工具は使用中またはスイッチのオン・オフ時にスパーク（火花）が発生しますので、引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。
- 屋外でのご使用には、用途に適した延長コードをご使用ください。屋外でご使用になる場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- お子様を近づけないでください。お子様や外部の方、訪問者が電動工具に触れないようにしてください。作業場所は作業員以外、立入禁止にしてください。

### ◆個人的な警告事項

- 不用意なスイッチ・オンは決してしないでください。持ち運ぶ間はスイッチに手を触れないようにしましょう。スイッチが入ると不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
- 保護メガネや他の保護器具を必ず使用してください。飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを必ず着用してください。ホコリが大量に出る切断作業では健康のためにも防じんマスクを併用してください。作業環境によっては耳栓、ヘルメット、手袋、安全靴の使用も必要です。

### ◆工具の使用と手入れ

- 加工材はしっかりと固定して作業してください。クランプや万力などで加工材を固定してください。手で保持するよりも安全ですし、両手で電動工具を使用することは安全につながります。
- スイッチが入らない、あるいは切れない場合は、ご使用を直ちに中止してください。スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。所定のサービスセンターで修理してください。
- 電動工具の調節や刃物、ビット類の交換の際には、必ずプラグをコンセントから外してください。また、必ずスイッチがオフであることも確認してください。こうした確認は不意に電動工具が作動して引き起こす事故を防止します。
- 指定の付属品、アタッチメントを使用してください。デフォルト社製工具への使用を推奨していない付属品やアタッチメントの使用は危険をとまなうことがあります。

## ⚠ 警告 電動工具を安全にお使いいただくために。

### ◆電気に関する安全事項

- 電源コードを乱暴に扱わないでください。コードの部分を持って工具をぶら下げて持ち運んだり、コンセントから外す際にコードを引っ張りすぎないでください。感電やショート等の原因となるので、コードを熱いものや油、薬品類に接触させたり、鋭利なものでキズをつけないように注意してください。万一、誤ってキズをつけた場合はその箇所に手を触れず、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。キズついたコードは火災を引き起こす危険性があります。
- 感電に注意してください。電動工具の使用時、身体をアースされているものには絶対に接触させないでください。

### ◆個人的な注意事項

- 常に注意して作業を行なってください。電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し、作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して使用しないでください。使用時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。
- キッチンとした服装で作業を行なってください。そで口の開いた服装や宝石類を身に付けてしないでください。電動工具の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を着用することをお勧めします。長髪の方は作業の邪魔にならないように帽子などをかぶってください。
- 調整用キー、レンチ等は、使用時以外は必ず取り外してください。スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取り外されているかどうか、常に確認する習慣をつけてください。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
- 電動工具に無理な力をかけないでください。電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。また、所定の速度で使用することによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。
- 作業に合った電動工具を使用してください。指定された用途以外には使用しないでください。小型の電動工具やアタッチメントを、大型の電動工具が必要な用途の作業に使用しないでください。
- 使用していない電動工具はお子様や初心者の方の手が届かないところに保管してください。電動工具はお子様や初心者の方には大変危険なものです。使用していない時は子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

### ◆工具の使用と手入れ


- 損傷部品を点検してください。引き続き使用する前に、安全カバーやその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されるかどうかを確認してください。可動部分の位置ずれや引っかかり、部品の破損、取り付け状態、その他に異常がないか点検してください。損傷した不良部品は、所定のサービスセンターで修理または交換してください。
- 電動工具と刃物類は、こまめに手入れをしてください。安全で効率の良い作業をしていただくために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。電動工具は常に手入れのゆきとどいた状態で使用してください。

## ⚠ 警告 電動工具を安全にお使いいただくために。

### ◆修理／メンテナンス

- 電動工具の修理は有資格技術者のみが行なえます。修理、メンテナンス、調整はデュオルト認定サービスセンターの有資格者が行なわなければなりません。
- 純正部品のみを使用してください。十分な能力を発揮するために、修理、メンテナンス、調整は、純正部品のみを使用して行なわなければなりません。

## ⚠ 警告 ディスクグラインダに関する安全上の追加事項。

1. 使用電源は、銘板に表示してある電源で使用してください。
    - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速になり、けがの原因になります。
  2. ホールガードは、必ず取り付けてください。
    - ・砥石が破損したとき、けがの原因となります。
  3. 使用するオフセット砥石は、最高使用周速度(4,300m/min 72m/s)以上の正規の砥石を取り付け、正しい使用方法で研削してください。側面や上面では、研削しないでください。
    - ・正規以外の砥石を使用したり、また側面や上面で、使用すると、砥石が破損し、けがの原因になります。
  4. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
    - ・異常があると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
  5. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。とくに始動時は気をつけてください。
    - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
  6. 水、研削液などは使用しないでください。
    - ・乾式用のため、砥石の破壊によるけがや感電の恐れがあります。
  7. 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
    - ・砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
  8. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
    - ・けがの原因になります。
  9. 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
    - ・火災やけがの原因になります。
1. 砥石を用いて切断作業をする場合は、必ず正規の切断砥石と、専用の切断砥石用ガードを使用してください。
    - ・砥石が破損し、けがの原因になります。
  1. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
    - ・けがの原因になります。
  2. 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店または当社所定のサービスセンターに点検・修理を依頼してください。
    - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。

## 警告 ディスクグラインダに関する安全上の追加事項。

- 1 3. 誤って落としたり、ぶつけたときは、砥石や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- 1 4. [事業所の方へ] 砥石の取り替え・試運転は法・規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。
 

関連法令	労働安全衛生規則	第 3 6 条
	労働安全特別教育規定	第 1 条、第 2 条

## 注意 ディスクグラインダに関する安全上の追加事項。

1. 工具類（砥石）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ・確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。
2. 新しい砥石を取り付け、初めてスイッチを入れるときは、回転面から一時身体を避けてください。
  - ・砥石が破損したとき、けがの原因になります。
3. 試運転を励行してください。
  - ・試運転時間は 砥石交換のとき……… 3 分以上  
その日の作業初めのとき……… 1 分以上
  - ・試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。
  - また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。
  - ・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 用途以外の刃物（丸のこ刃、チップソーなど）での切断作業はしないでください。
  - ・丸のことしての保護装置がなく、けがの原因になります。

電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

□…………… 二重絶縁

本機は二重絶縁構造になっており、工具の外側の部品は電力の供給源と絶縁されており、アースしなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

### 延長コード

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。  
使用できるコードの太さ（公称断面積）最大長関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25mm <sup>2</sup>	15m
2.00mm <sup>2</sup>	30m

### 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。  
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。  
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

## 製品の特徴と使用方法

### ◆ホイールガードの取り付け方・取りはずし方



#### 警告

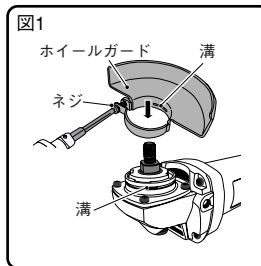
取り付け・取りはずしの際には、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いて行ってください。  
プラグを電源につないだままで行なうと、事故の原因になります。また、ホイールガードなしでは、使用しないでください。外フランジは、必ず付属のレンチを使って十分に締め付けてください。

#### ◆取り付け方 ネジ式（図1）

- (1) ホイールガードの溝と本体の溝をあわせ、ホイールガードを本体に取り付けてください。
- (2) 1ヶ所のネジをしっかり止めてください。

#### ◆取りはずし方 ネジ式

取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で取りはずしてください。

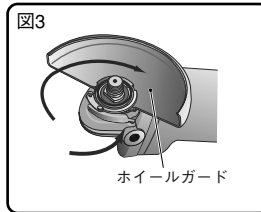
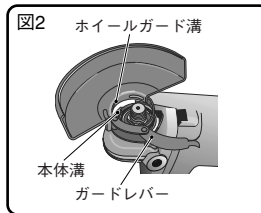


#### ◆取り付け方 レバー式

- (1) ホイールガードの溝と本体の溝をあわせ、ホイールガードを本体に取り付けてください。（図2）
- (2) ホイールガードを作業状況に合わせて、回転させてください。（図3）
- (3) レバーをとじて、ホイールガードを固定してください。

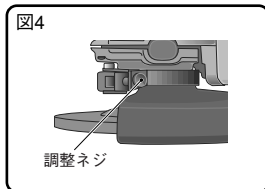
#### ◆取りはずし方 レバー式

取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で取りはずしてください。



#### ◆ホイールガード締め付けの調整 (図4)

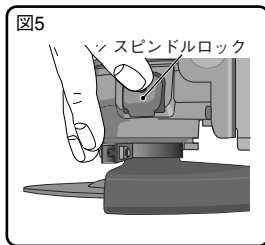
ホイールガードの締め付けの調整は、レバーの根元部分にあるネジで調節ができます。緩くなってきたら適度に締め付け、調整を行ってください。



**注意** レバーを開けたまま、作業を行わないでください。

#### ◆スピンドルロックの操作 (図5)

・ディスクを取り付け、取りはずす際に使用します。スピンドルロックを押し込み、スピンドル（主軸）の回り止めをしてください。



**注意** スピンドル（砥石）を回転させたままスピンドルロックを押さないでください。故障の原因になります。

#### ◆ディスク（研削砥石）の取り付け方・取りはずし方

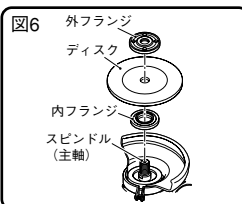


**警告**

取り付け・取りはずしの際には、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いて行ってください。プラグを電源につないだままで行なうと、事故の原因になります。

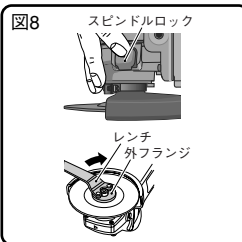
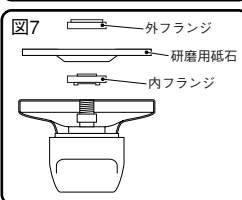
#### ◆ディスク（研削砥石）の取り付け方

- (1) スピンドル（主軸）を上に向け、内フランジの切り欠きのある凸部を本体側、切り欠きのない凸部をディスク側に向け、スピンドルにはめ込んでください。(図6・7)
- (2) 内フランジの上に、ディスク（研削砥石）の研削面が上になるように取り付け、ディスクの上に外フランジ（凸部のない平らな面をディスク側に向けて）を取り付けてください。
- (3) スピンドルロックを押さえつけながら、外フランジを付属のレンチでしっかりと締め付けてください。(図8)



#### ◆ディスク（研削砥石）の取りはずし方

取りはずす場合は、取り付け方の逆の手順で行ってください。

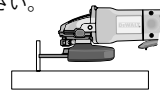


#### ◆100mm切断用砥石の取り付け方・取りはずし方



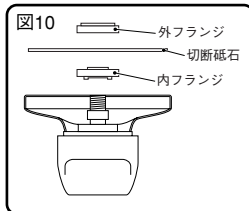
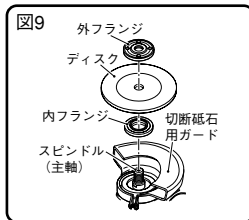
**警告**

100mm切断用砥石の取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切りプラグを電源から、抜いて行ってください。プラグを電源につないだまま行なうと、事故の原因になります。また、必ず切断砥石用ガード（別売り）を用いて使用してください。切断用砥石は、側面からの力に弱く、破損や、けがの原因になります。切断を行なう際は、刃を切断するものに対し、90°に当て、切断を行なってください。



### ◆100mm切断用砥石の取り付け方

- (1) 標準のホイールガードをはずし、切断砥石用ガード(別売)を取り付けます。(図9)
- (2) スピンドルに内フランジ(切り欠きのある凸部を本体側に向ける)、切断砥石の順にスピンドルに取り付けます。(図10)
- (3) 切断砥石の上に外フランジ(凸部がない平らな面をディスク側における)をスピンドルに取り付けます。(図10)
- (4) スピンドルロックを押して、スピンドルを固定し、レンチで外フランジを十分に締め付けます。(P5図5)



### ◆100mm切断用砥石の取りはずし方

取りはずす場合は、取り付け方の逆の手順で行ってください。

### ◆100mmダイヤモンドホイールの取り付け方・取りはずし方

取り付け・取りはずしの際には、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いて行ってください。

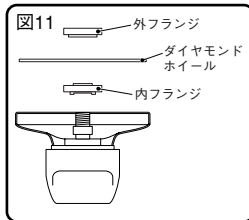


**警告**

プラグを電源につないだままで行なうと、事故の原因になります。使用前に、必ずダイヤモンドホイールにヒビ割れ、欠け、曲がりなどがないことを確認してください。切削方向によっては反力があるので、機体を確実に保持してください。1回の切り込み量は5mm以下にしてください。また、送り速さを加減しながら無理な力をかけないようにしてください。

### ◆ダイヤモンドホイールの取り付け方

- (1) スピンドルに、内フランジ(切り欠きのある凸部をダイヤモンドホイール側に向ける)、ダイヤモンドホイールの順に取り付けます。(図11)
- (2) ダイヤモンドホイールの上から、外フランジの太径の凸部がある表面をダイヤモンドホイール側にして、スピンドルに取り付けます。
- (3) スピンドルロックを押してスピンドル(P5図5)を固定し、レンチで外フランジを十分に締め付けます。



### ◆ダイヤモンドホイールの取りはずし方

取りはずす場合は、取り付け方の逆の手順で行ってください。

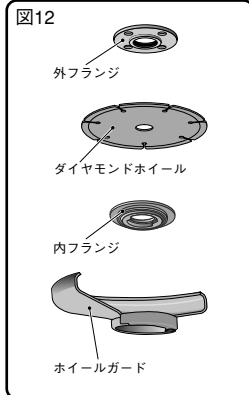
### ◆125mmダイヤモンドホイールの取り付け方・取りはずし方

#### ◆ダイヤモンドホイールの取り付け方

- (1) ダイヤモンドホイールをスピンドルに取り付けます。このとき、ホイールの穴を内フランジの凸部をあわせてください。
- (2) 外フランジの凹部をダイヤモンドホイール側にして、スピンドルに取り付けます。
- (3) スピンドルロックを押してスピンドル(P5図5)を固定し、レンチで外フランジを十分に締め付けます。

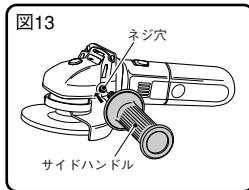
#### ◆ダイヤモンドホイールの取りはずし方

取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で取りはずしてください。



### ◆サイドハンドルの取り付け方(図13)

サイドハンドルを、本体の横にあるネジ穴にとりつけ、時計方向の方向に回ししっかりと止めてください。



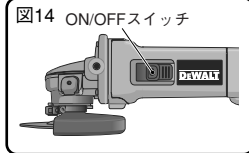
### ◆スイッチの操作方法



**警告**

電源にプラグを差し込む前にスイッチが切れていることを必ず確認してください。スイッチをいれたままプラグを差し込むと、急に動き出し、事故の原因となります。ONとOFFの際には、負荷をかけないでください。コンセントを抜く前に、必ずOFFにしてください。

コンセントにプラグを差し込む前に、電源がOFFになっているか確認してください。その後、ON/OFFスイッチをONにします。(図14)スイッチを切る時には、ON/OFFスイッチをOFFにしてください。機械が完全に止まったことを確認した後、コンセントからプラグを抜いてください。





## ◆研削のヒント (オフセット研削砥石)



**警告**

使用後はスイッチを切って、ディスク (研削砥石) の回転が完全に止まってから機械を置いてください。回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますので、注意してください。

- ・サイドハンドルを片手でしっかり握り、もう一方の手で本体を持ちます。
- ・ホイールカバーでカバーされていないディスクの部分が体から離れた場所にあるようにホイールカバー位置を設定してください。(図15)
- ・ディスクが金属に接すると、火花が散りますのでご注意ください。研削作業中にディスクと作業面の角度を常に正しく (15°) 保ってください。これによってディスクの研削能力を最大に発揮し、ソールに不必要な負担をかけることを防ぐことができます。(図16)
- ・新しいオフセット研削砥石は、後方に引いて使用してください。前方に押しますと加工材に食い込むことがあります。オフセット研削砥石の角がとれましたら、どちらの方向にも進めることができます。

図15

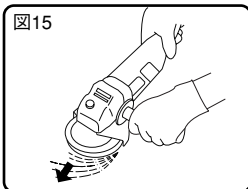
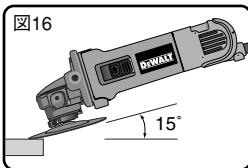


図16



## メンテナンス

ホコリや油等が製品の表面に付着した場合、布やブラシ (金属以外のもの) 等から拭き/ブラッシングしてください。水、薬品は掃除の際、絶対に使用しないでください。



**注意**

製品の掃除を開始する前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## アフターサービスについて

本機の修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターにて行わなければなりません。かならずお買い上げの販売店または当社所定のサービスセンターまでご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行ないますと、事故やケガの恐れがあります。

## アクセサリー

本製品の付属品は各販売店もしくは所定のサービスセンターにて販売しております。また付属品やアタッチメントについてのお問い合わせは、マックス (株) までご連絡ください。

△当社の認定しない付属品やアタッチメントのご使用は、事故やケガの原因になる恐れがあります。ご使用にならないでください。



本社	〒103-8502	中央区日本橋	箱崎町	6-6	TEL(03)3669-8121
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通	東	6-12-8	TEL(011)261-7141
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町	東	2-1-29	TEL(022)236-4121
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋	箱崎町	6-6	TEL(03)3669-8118
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市中区	徳川	1-11-23	TEL(052)935-8531
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区	玉川	1-3-18	TEL(06)6444-2031
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音	7-11-24	TEL(082)291-6331	
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田	1-5-1	TEL(092)411-5416	
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭	2-10-3	TEL(019)621-3541	
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市築瀬	町	2313	TEL(028)636-3012
柏市営業所	〒277-0871	柏市若柴	297-12	TEL(04)7132-1500	
立川営業所	〒190-0022	立川市錦町	5-17-19	TEL(042)528-3051	
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘	2-3-27	TEL(029)255-3761	
松戸営業所	〒433-8117	松戸市高丘	東	2-22-15	TEL(053)439-3300
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町	6-2-4	TEL(078)367-1580	
九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開	町	3-24	TEL(099)269-5347
新潟マックス	〒955-0081	三条市東裏	館	2-14-28	TEL(0256)34-2112
群馬マックス	〒371-0844	前橋市古市	町	233-5	TEL(027)210-7755
埼玉マックス	〒331-0823	さいたま市北区日進	町	3-421	TEL(048)651-5341
千葉マックス	〒284-0001	四街道市大日	1870-1	TEL(043)422-7400	
横浜マックス	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘	7-6	TEL(045)364-5661	
長野マックス	〒399-0033	松本市笹賀	8155	TEL(0263)26-4377	
長野営業所	〒381-2247	長野市青木	島	1-35-1	TEL(026)285-6740
静岡マックス	〒422-8036	静岡市駿河区敷地	1-3-26	TEL(054)237-6116	
金沢マックス	〒921-8061	金沢市森戸	2-15	TEL(076)240-1871	
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野	字	樋向	10-8
福井営業所	〒918-8237	福井市和	田	2-1711	TEL(0776)27-3378
京滋マックス	〒612-8414	京都市伏見区竹田	段ノ川	原町	9
岡山マックス	〒700-0971	岡山市野田	3-23-28	TEL(086)246-9516	
四国マックス	〒761-8056	高松市上天神	町	761-3	TEL(087)866-5599
徳島営業所	〒770-0863	徳島市安宅	2-4-46	TEL(088)623-0286	
松山営業所	〒790-0951	松山市天山	2-1-35	TEL(089)913-0608	
マックスサービス札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通	東	6-12-8	TEL(011)231-6487
マックスサービス仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町	東	2-1-29	TEL(022)237-0778
マックスサービス新潟	〒955-0081	三条市東裏	館	2-14-28	TEL(0256)34-2112
マックスサービス高松	〒761-8056	高松市上天神	町	761-3	TEL(087)866-5599
マックスサービス徳島	〒770-0863	徳島市安宅	2-4-46	TEL(088)623-0286	
マックスサービス松山	〒790-0951	松山市天山	2-1-35	TEL(089)913-0608	
マックスサービス広島	〒733-0035	広島市西区南観音	7-11-24	TEL(082)291-6331	
マックスサービス福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田	1-5-1	TEL(092)451-6430	

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-228-358  
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。